

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局地域道路課

担当課長名：瀬尾 俊男

事業名	町道 5284号線	事業区分	地方道	事業主体	群馬県吾妻郡東吾妻町	
起終点	自：群馬県吾妻郡東吾妻町三島 至： 同上 松谷	延長	0.507km			
事業概要	町道5284号線は、利根川水系 <sup>あがつまがわ</sup> 吾妻川のハツ場ダム建設に伴い新設される(一)林東吾妻線 <sup>はやしひがしあがつま</sup> を起点とし、(国)145号に至る路線である。本線沿いには「あがつまふれあい公園」等が整備される予定でありこの公園等へのアクセス道路でもある					
H 9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H16年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	19億円	事業進捗率	77%	供用済延長	0km	
計画交通量	3,900台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.9	総費用 (事業全体) 21億円 事業費：21億円 維持管理費：0.08億円	総便益 (事業全体) 82億円 走行時間短縮便益：70億円 走行費用減少便益：9.7億円 交通事故減少便益：2.2億円	基準年	平成18年	
感度分析の結果	実施せず					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダムにより分断される生活道路の確保</li> <li>新たに整備される「あがつまふれあい公園」、名勝吾妻峡等の周遊を促す道路であると共に、当地域の基幹産業である農業振興など地域振興に寄与が期待される。</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	ハツ場ダム事業推進のためにも必要不可欠な道路であり、地元住民からも早期の整備が要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	難航していた補償基準交渉が平成16年度に妥結された。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	H9年に事業着手後、起工承諾により吾妻川橋が完成。現在岩島地区補償基準妥結により用地買収が可能となり、鋭意用地買収をすすめ工事とともに事業進捗を図り全線の早期供用開始を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	補償基準の妥結の遅れが原因であるが、平成16年の岩島地区における補償基準妥結を受け、用地買収を進めているところである。ハツ場ダム関連事業の本格化により本線で利用する残土の発生が見込めることから、ダム事業の進捗に合わせて本路線を完成させていきたい。					
施設の構造や工法の変更等	ダム施工による残土を再利用しコスト減少を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案するとともに、ダムにより分断される地域を結ぶために必要不可欠であり、事業の必要性、重要性は変わらない。					
事業概要図						